

2020年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 筒井 公久
 社 長
 (コード番号 6417 東証第1部)
 問 合 せ 先 常務執行役員 大島 洋子
 管理本部長
 (TEL. 03-5778-7777)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	73,500	8,000	8,700	6,200	101.34
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	78,416	12,551	13,476	13,045	183.43

(2) 連結業績予想の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な見積りが困難であることから、業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき算定した連結業績予想を公表いたします。

当パチンコ・パチスロ業界におきましても、緊急事態宣言下の自粛要請により、全国的に大多数のパーラーにおいて休業を余儀なくされたため、パーラーは厳しい経営環境に直面し、新たな遊技機の購入を控える事態となりました。一方で2018年2月に施行された改正遊技機規則が2020年5月に改正・施行され、旧規則機の撤去期限が1年間延長されることとなりました。この改正・施行を受け、コロナ禍で一時休業や設備投資の先送りを余儀なくされたパーラーでは、新規則機への入替対応を計画的に進めることが可能となり、経営体制の再構築を図ろうと

しております。

このような状況下、2020年に入り、警察庁の「技術上の規格解釈基準」変更により開発が可能となった「遊タイム」と呼ばれる新たなゲーム性を有した商品への期待が高まりつつあることなどから、第3四半期以降には入替需要が表面化してくるものと思われまます。当社グループにおきましては、新解釈基準機の普及・定着に向け、パチンコ・パチスロともに多様なゲーム性を有した商品を市場投入し、コスト管理を重視しつつも、販売増・シェアアップのための適切な費用投入を図ってまいります。

なお、当社グループの2021年3月期のパチンコ機の販売台数は150千台、パチスロ機の販売台数は28千台を計画しております。

またこれらの予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大が緩やかながらも収束に向かいつつ、新たな生活様式などへの対応も徐々に進んでいくという前提に基づいており、収束の時期によって変動する可能性があります。

2. 配当予想について

(1) 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
前回予想	—	—	—	—	—
今回予想	—	75.00円	—	75.00円	150.00円
(参考) 前期実績	—	75.00円	—	75.00円	150.00円

(2) 配当予想の理由

当社では、株主の皆さまへの利益の還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置付けており、配当金につきましては、業績、財政状態、配当性向などを総合的に勘案した上で、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

2020年5月12日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2021年3月期の配当予想を未定としておりましたが、公表した業績予想及び上記方針に基づき、中間配当予想を75円、期末配当予想を75円とすることといたしました。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上